

◇リフォーム業界現場監督者向け◇ 職人指導力向上教育のご提案

職人の高齢化

近年、建築業界では職人の高齢化が深刻化しています。これは、職人志望の若い人が減っていることとともに、離職する人が増えているためです。総務省の労働力調査では、建設業就業者のうち約34%にあたる176万人が55歳以上、29歳以下はわずかに58万人の約11%となっており、職人の高齢化が顕著になっています。

新人・若手現場監督者に必要な能力

新人・若手の現場監督者にとって、職人とのコミュニケーションを苦手と感じている人は少なくありません。「職人に軽く扱われる」、「指示出しがうまくできない」といった声がよく聞かれます。ましてや、前述のように歳が大きく離れた職人に対してはなおさらです。しかし、現場におけるコミュニケーション不足は、品質低下、工程遅れにも繋がりがねません。どんな現場でも、的確な指示出しが出来るよう、現場監督者のコミュニケーション力は必須能力といえます。

リフォーム現場監督者の指導力強化必要性

お施主様が自宅にいて作業をすることが多いリフォーム事業、CS徹底が何よりも大事なことは言うまでもありません（以下参照）。また、コロナ禍によってお施主様だけでなく、自宅で過ごす近隣住民も増えました。これまで以上に現場マナーを徹底しCSを実現するためにも、現場監督者による監督・指導が不可欠です。

※リフォーム会社CS徹底の重要性

小工事主体のリフォーム事業は、「リピートオーダー」なくして利益は出ない事業である。しかし、「リピートオーダー」獲得には徹底されたCSが大前提であり、第一線で働く職人への指導が必要不可欠である。

職人指導力強化のポイント

1. 監督者自身がCSマナーを完全習得する
2. 職人への指導ポイントとコツを理解する
3. 指導実技訓練を繰り返し行い、自信を持って指導できるようになる

弊社の研修では、業界に精通した講師が担当し、現場ですぐに実践できるよう指導ポイントをレクチャーします。

※指導力修得プロセス例

1. 講師による指導法の講義（見本例の実演）
 2. 受講者の指導実技訓練（ロールプレイングを行い、ビデオ録画）
 3. ビデオ再生により、改善点の確認
 4. 再度実技により完全習得
- ⇒「実際に指導ができる」力の修得

是非、ご興味・ご質問のある方は、下記からご連絡下さい。



> お問い合わせはこちら